

平成21年度 常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績
検討会は、平成21年11月18日(水)にメルパルク大阪に
おいて開催された。

この検討会には、試験場関係者26名、委託関係者12名

ほか計46名の参集を得て、生育調節剤6薬剤(59点)に
ついて、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表
に示す通りである。

平成21年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 ・ 継 続 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL/水量L/10a ・ 処理方法	判定	判定内容
1. AKD-8147水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウ ム:22% [アグロカネヨウ]	ウシユウ ミカン (加温 栽培)	適用性 継続	＜神奈川農技根府川 > ＜愛知農試常緑> ＜大分果樹研> (3)	[結果母枝充実・着果促進] ・ 夏秋梢萌芽時および再萌芽時 2～3回 ・ 1000～2000倍 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [ウシユウミカン(加温)]; 結果母枝充実、 着花促進] ・ 夏秋梢萌芽時および再萌芽時 ・ 1000～2000倍 2回 ・ 立木全面茎葉散布
		適用性 継続 (H20)	神奈川農技根府川 愛知農試常緑 (2)	[結果母枝充実・着果促進] ・ 夏秋梢萌芽時および再萌芽時 2～3回 ・ 1000～2000倍 ・ 立木全面散布	継)	・ 年次変動の確認
	ウシユウ ミカン (露地)	適用性 継続 (H20)	果樹研かきワ(ロ之津) 三重大 (2)	[着花、結果促進] ・ 生理的花芽分化期前後 ・ 1000, 2000倍 2～3回 ・ 立木全面散布	継 ?	[ウシユウミカン(露地)着花、着果促進]
	不知火	適用性 継続	＜愛媛果試> ＜熊本農研果樹> (2)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1～3回 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [不知火; 夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期～再萌芽期 ・ 1000～2000倍 3回以内 ・ 立木全面散布
		適用性 継続 (H20)	福岡農総試 熊本農研天草 (3) 宮崎総農試	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1～3回 ・ 立木全面散布	継)	・ 年次変動の確認 (果実品質への影響について)
天草		適用性 継続	佐賀果試 (1)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1～3回 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [天草; 夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期～再萌芽期 ・ 1000～2000倍 2～3回 ・ 立木全面散布
		適用性 継続 (H20)	佐賀果試 宮崎総農試亜熱帯 (2)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1～3回 ・ 立木全面散布	継)	・ 年次変動の確認(処理回数)

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AKD-8147水溶 つづき	せとか	適用性 継続	〈山口柑きつ振興む〉	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [せとか;夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期~再萌芽期 ・ 1000~2000倍 2回以内 ・ 立木全面散布
		適用性 継続 (H20)	山口柑きつ振興セ 愛媛みかん研 (2)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布		継) ・ 年次変動の確認(処理回数)
	はるみ	適用性 継続	〈山口柑きつ振興セ〉 (1)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [はるみ;夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期~再萌芽期 ・ 1000~2000倍 2~3回 ・ 立木全面散布
		適用性 継続 (H20)	愛媛果試 長崎農技 (2)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布		継) ・ 年次変動の確認(処理回数)
	ボンカン	適用性 継続	〈熊本農研天草〉 (1)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布	継	[ボンカン;夏秋梢発芽防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 継続 (H20)	香川農試府中 高知農技果試 (2)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布		
	不知火	適用性 継続	〈愛媛果試〉 〈熊本農研果樹〉 (2)	[果実肥大促進] ・ 果実肥大期 (7~8月*) *摘果直後 ・ 4000, 8000倍 ・ 1回散布, 2回散布 ・ 立木全面散布	継	[不知火;果実肥大促進] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 継続 (H20)	愛媛果試 熊本農研果樹 (2)	[果実肥大促進] ・ 果実肥大期 (7~8月*) *摘果直後 ・ 4000, 8000倍 ・ 1回散布, 2回散布 ・ 立木全面散布		
	河内 晩柑	適用性 継続 (自主) (H20)	愛媛果試 (1)	[後期落果防止] ・ 着色初期 ・ 1000倍 1回および2回 (散布間隔:10日間) ・ 立木全面散布 対)マデックEW 2000倍 1回および2回	継	[河内晩柑;後期落果防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	伊予柑	適用性 新規 (自主) (H19, 20)	愛媛果試 (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定6~15日前 ・ 1000, 2000倍 1回 ・ 立木全面散布 対)マデックEW 2000倍 1回	継	[伊予柑;へた落ち防止] 継) ・ 効果、薬害の確認

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
2. AKD-8191水溶 既知化合物:40% [アゲカネショウ]	河内 晩柑	適用性 新規	<愛媛みかん研> <熊本農研天草> (2)	[後期落果防止] ・ 果実着色期～収穫予定14日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	清見	適用性 新規	<山口柑きつ振興会> <香川農試府中> (2)	[後期落果防止] ・ 果実着色期～収穫予定14日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	ネーブル	適用性 新規	(0)	[後期落果防止] ・ 果実着色期～収穫予定14日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	—	(実施なし)
	八朔	適用性 新規	<佐賀果試> (1)	[後期落果防止] ・ 果実着色期～収穫予定14日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	日向夏	適用性 新規	<福岡農総試> (1)	[後期落果防止] ・ 果実着色期～収穫予定14日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	伊予柑	作用性 新規	<愛媛果試> (1)	[へた落ち防止] ①収穫予定20および10日前 1000、2000倍 2回 ②収穫予定前日、7、14、21日前 1000、2000倍 1回 ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	伊予柑	適用性 新規	<香川農試府中> <愛媛果試> <愛媛みかん研> <佐賀果試> (4)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布		
	甘夏	適用性 新規	<香川農試府中> <熊本農研果樹> (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	清見	適用性 新規	<香川農試府中> <福岡農総試> (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	ネーブル	適用性 新規	<香川農試府中> (1)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	—	(試験中)
	八朔	適用性 新規	<香川農試府中> <佐賀果試> (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000、2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	—	(試験中)

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 〔対象雑草;ねらい〕 ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. RIC-1液 海藻ホシネット 〔ロイヤル インターストリーズ〕	ウシジョ ミカン (成木)	適用性 継続	〈広島農技〉 (1)	〔品質向上、樹勢回復、隔年結果軽減〕 ・ A区;2-3月原液1L/10a (土壌処理 *) →3月上中、4月上中、5月中下、 6月中下、12月1000倍各1回 (茎葉 処理) ・ B区;3月上中、4月上中、5月中下、 6月中下、12月1000倍各1回 (茎葉 処理)	継	〔ウシジョミカン; 隔年結果軽減〕 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 継続 (H20)	〈広島農技〉 愛媛みかん研 (2)	〔品質向上、樹勢回復、隔年結果軽減〕 ・ A区;2-3月原液1L/10a (土壌処理 *) →4月上中、5月上中、6月上中、 12月1000倍各1回 (茎葉処理) ・ B区;3月上中、4月上中、5月中下、 6月中下、12月1000倍各1回 (茎葉 処理)		
	不知火、 はるみ	作用性 継続 (H20)	果樹研カンキツ(ロ之津) (1)	〔品質向上、樹勢強化〕 ・ A区;2-3月原液1.5L/10a (土壌処 理) →4、5、6、7、8、9、10、11、 12月2000倍各1回 (茎葉処理) ・ B区;3、4、5、6、7、8、9、10、 11、12月1500倍各1回 (茎葉処理)	一	(作用性)
	はるみ	適用性 継続	〈山口柑きつ振興セ> 〈愛媛みかん研> 〈佐賀果試> 〈宮崎総農試亜熱帯> (4)	〔品質向上、樹勢回復、隔年結果軽減〕 ・ A区;2-3月原液1.5L/10a (土壌処 理) →4、5、6、7、8、9、10、11、 12月2000倍各1回 (茎葉処理) ・ B区;3、4、5、6、7、8、9、10、 11、12月1500倍各1回 (茎葉処理)	継	〔はるみ; 樹勢回復、隔年結果軽 減〕 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 継続 (H20)	広島農技三原 山口柑きつ振興セ 愛媛みかん研 佐賀果試 宮崎総農試亜熱帯 (5)	〔品質向上、樹勢回復、隔年結果軽減〕 ・ A区;2-3月原液1.5L/10a (土壌処 理) →4、5、6、7、8、9、10、11、 12月2000倍各1回 (茎葉処理) ・ B区;3、4、5、6、7、8、9、10、 11、12月1500倍各1回 (茎葉処理)		
4. ジェレリン水溶 ジェレリン:3.1% 〔日本ジェレリン研究 会〕	小粒 カンキツ (レモン)	適用性 継続 (H20)	広島農技三原 愛媛果試 (2)	〔果皮の緑色維持〕 ・ ①収穫予定約30日前 ②収穫予定約7日前 ・ 10, 25, 50ppm ・ 立木全面散布	実・ 継 (実の 内容 は従 来ど おり)	実) 〔カンキツ; 果皮の緑色維持〕 ・ 収穫予定7~30日前 ・ 10~50ppm ・ 散布(果実表面に十分付着する よう) ・ 効果の確認された品種;カブス、ス グチ、長門ユズキチ、ハース、レモン 継) ・ ハースに対する効果、薬害につい て年次変動の確認
5. ジェレリンペースト ジェレリン2.7% 〔協和発酵バイオ〕	ウシジョ ミカン (石地)	適用性 新規 (自主)	広島農技 広島農技三原 (2)	〔新梢伸長促進〕 ・ 新梢萌芽期 ・ 100mg/枝 ・ 新梢基部塗布	保 留	〔ウシジョミカン; 新梢伸長促進〕
	ブンタン	適用性 新規 (自主)	高知農技果試 施設・〈露地〉 (2)	〔果実肥大促進〕 ・ ①満開50日後 ②満開70日後 ③満開90日後 ・ 5~10mg/果実 ・ 果梗から2~3cmの結果枝に塗布	継	〔ブンタン; 果実肥大促進〕 継) ・ 効果、薬害の確認

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
6. シベレリン水溶+PDJ 液 シベレリン:3.1%+ プロピトロシメソン:5% [日本シベレリン研究 会, 日本ゼオン]	ワンシュウ ミカン	適用性 継続	＜愛知農試常緑> ＜和歌山果試> ＜山口柑きつ振興会> ＜愛媛みかん研> (4)	[花芽抑制による樹勢維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・ ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 (注) 200～300枚程度着葉した枝を 試験区とし、3反復以上	継	[ワンシュウミカン;花芽抑制による樹勢 維持] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 継続 (H20)	愛知農試常緑 (倍量薬害含む) 和歌山果試 山口柑きつ振興会 愛媛みかん研 (4)	[花芽抑制による樹勢維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・ ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 (注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上		
	伊予柑	適用性 継続	＜香川農試府中> ＜愛媛みかん研> (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・ ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 (注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	継	[伊予柑;花芽抑制による樹勢維持] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 新規 (H20)	香川農試府中 愛媛みかん研 (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・ ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 (注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上		
	清見	適用性 継続	＜和歌山果試> ＜佐賀果試> (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・ ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 (注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	継	[清見;花芽抑制による樹勢維持] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 新規 (H20)	和歌山果試 佐賀果試 (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・ ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 (注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上		

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
シベリン水溶+PDJ液 つづき	不知火	適用性 継続	<愛媛みかん研 <熊本農研果樹> (2)>	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 ・ 注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	継	[不知火;花芽抑制による樹勢維持] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 新規 (H20)	愛媛みかん研 熊本農研果樹 (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 ・ 注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上		
	はるみ	適用性 継続	<山口柑きつ振興セ (1)>	[花芽抑制による樹勢の維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 ・ 注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	継	[はるみ;花芽抑制による樹勢維持] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 継続 (H20)	山口柑きつ振興セ (1)	[花芽抑制による樹勢維持] ・ 収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・ 立木全面散布又は枝別散布 ・ 注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上		
	ウシユミカン	適用性 継続	愛知農試常緑 和歌山果試 徳島果樹研 (3)	[落果防止] ・ ①満開7～10日後 PDJ50ppm+GA10ppm ②満開7～10日後 PDJ25ppm+GA10ppm ③開花始め PDJ50ppm+GA10ppm ④開花始め PDJ25ppm+GA10ppm ・ 枝別散布 注) ウシユミカンでは300枚以上、中 晩柑では500枚以上着葉した枝が ある樹を使用し3反復	継	[ウシユミカン;落果防止] 継) ・ 効果、薬害の確認

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;おらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
シベリン水溶+PDJ液 つづき	伊予柑	適用性 継続	山口柑きつ振興 愛媛みかん研 (2)	[落果防止] ・①満開7～10日後 PDJ50ppm+GA10ppm ②満開7～10日後 PDJ25ppm+GA10ppm ③開花始め PDJ50ppm+GA10ppm ④開花始め PDJ25ppm+GA10ppm ・枝別散布 注) カンショミカンでは300枚以上、 中晩柑では500枚以上着葉した 枝がある樹を使用し3反復	継	[伊予柑;落果防止] 継) ・効果、薬害の確認
	清見	適用性 継続	和歌山果試 (1)	[落果防止] ・①満開7～10日後 PDJ50ppm+GA10ppm ②満開7～10日後 PDJ25ppm+GA10ppm ③開花始め PDJ50ppm+GA10ppm ④開花始め PDJ25ppm+GA10ppm ・枝別散布 注) カンショミカンでは300枚以上、 中晩柑では500枚以上着葉した 枝がある樹を使用し3反復	継	[清見;落果防止] 継) ・効果、薬害の確認
	不知火	適用性 新規	広島農枝 熊本農研果樹 (2)	[落果防止] ・①満開7～10日後 PDJ50ppm+GA10ppm ②満開7～10日後 PDJ25ppm+GA10ppm ③開花始め PDJ50ppm+GA10ppm ④開花始め PDJ25ppm+GA10ppm ・枝別散布 注) カンショミカンでは300枚以上、 中晩柑では500枚以上着葉した 枝がある樹を使用し3反復	継	[不知火;落果防止] 継) ・効果、薬害の確認
	ボンカン	適用性 新規	大分果樹研 鹿児島農総果樹 (2)	[落果防止] ・①満開7～10日後 PDJ50ppm+GA10ppm ②満開7～10日後 PDJ25ppm+GA10ppm ③開花始め PDJ50ppm+GA10ppm ④開花始め PDJ25ppm+GA10ppm ・枝別散布 注) カンショミカンでは300枚以上、 中晩柑では500枚以上着葉した 枝がある樹を使用し3反復	継	[ボンカン;落果防止] 継) ・効果、薬害の確認

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ジベレリン水溶+PDJ液 つづき	伊予柑	適用性 新規	<香川農試府中> <愛媛みかん研> (2)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	—	(試験中)
	不知火	適用性 新規	<熊本農研天草> <鹿児島農総果樹> (2)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	—	(試験中)
	はるみ	適用性 新規	<山口柑きつ振興> <愛媛果試> (2)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	—	(試験中)
	ボンカン	適用性 新規	<静岡伊豆農研> <高知農技果試> <熊本農研天草> <鹿児島農総果樹> (4)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	—	(試験中)
	ウシユミカン	適用性 継続 (H20)	山口柑きつ振興 徳島果樹研 佐賀果試 長崎農技 (4)	[樹上完熟みかんの浮皮軽減] ・ 樹上完熟収穫の3ヶ月前(着色 開始前、蜜尻前) ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	実	実) [樹上完熟みかん;浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ ジベレリン3.3~5ppm +PDJ25~50ppm ・ 散布(果実表面に十分付着する よう) 注) ・ 使用時に混用する ・ 処理により薬斑を生じることがある